

7月人事

青年に冷たい配転政策

希望無視の配転は、やめろ

2013年人事発令全国からの声(配転編)

- 【関信】育児休業中の職員の配転希望、子育て中の職員の残留希望が実現せず問題。
布団付配転は継続、小規模署では異動する側も迎える側も不幸との声も。
- 【東京】千葉県房総地域署への布団付配転で、泣き出す青年や異動先がイメージできない青年も。
アパートを借りるにも、保証人準備や審査で時間が足りないとの声。
- 【近畿】夫婦で大阪府内から和歌山県南部に異動。中間地点にアパートを借りるが着任に間に合わない、必要な日数は確保してほしいとの声。
- 【四国】非公式に転居をほのめかされた民間アパート入居の青年は、6月に契約を解約できたとの喜びの声。

職員いじめの人事変わらさず

介護・子育て支援に逆行

7月10日の発令では、公務の要請のもと、希望外の配転が各地で見られました。(人事発令分析は次号で掲載予定)

一部他局配転が実現した例もありますが、青年の遠隔地配転(布団つき配転)や局・総務系配転、中高年の遠距離通勤、管理運営職員の希望外定着が見られます。

特に親の介護、子育てに配慮のない配転は、きちんと身上把握をしたのか疑問です。長年の配転希望がなかなか実現しない配転は、多くの職員が、生きがいを持って長くこの職場で働ける配転政策を、強く要求します。



発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 山本 浩二
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。
◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

組合差別温存・不当配転に抗議

組合員の発令状況は下記の表の通りですが、退職まで残り1年の普通科32期相当に全く発令がありませんでした。

5級昇格では、近畿地連一名に発令があったのみで重点要求該当者として長官交渉で取り強く求めました。

また、関信地連では竹内暢さん(子どもの送迎)高橋浩司さん(埼玉県支部)に希望外配転を強要しました。地連・支部は局に抗議するとともに、希望外配転させよう強く求めました。

第5回

「国家公務員賃下げ違憲訴訟」口頭弁論 生活実態は、我慢の限界を 超えている

6月24日(月)15時から東京地裁第103号法廷で、5回目の口頭弁論が行われました。

昼休みの地裁前行動、署名提出行動、裁判の傍聴、報告集会には明石兵庫支部長や関信地連の組合員が参加しました。次回は9月19日(木)14時から同じく東京地裁で行われます。



10万筆の署名と明石兵庫支部長

「特別法に続き、退職手当削減、宿舍廃止と宿舍費値上げ、55歳定昇ストップは許せない」労働行

「賃下げる旗は下げられぬの」

沖縄全税支部組合員に 級ポスト発令

全国税と組合差別解消等で協議会を結成し、長官交渉を実施している沖縄全税支部組合員に、沖縄国税事務所調査課主査の発令がありました。

前回、組合員に発令があつて以降8年間の空白があり、昨秋には増山委員長を始め、全国の組合員が沖縄国税事務所に要請行動を実施し、長官交渉でも重点要求として追及してまいりました。沖縄全税支部から「皆さんの闘いの結果だ」と、お礼のメールがありました。

全国税組合員 6級ポスト発令状況

地連	期別	ポスト
関信	普 39期	個人統括官
東京	専 11期	個人特官
東海	普 34期	個人特官
	普 34期	徴収特官
	普 34期	個人統括官
北陸	専 8期	個人統括官
近畿	専 11期	個人統括官
	普 35期	法人統括官

全国税組合員に対する6級ポスト発令数の推移

年	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
ポスト発令	26	21	21	24	24	23	10	13	11	8

賃下げ反対の旗は下げられぬの

報告集会で、弁護団が今回の弁論のポイントを報告し、単組の原告が決意表明しました。

今後のとりくみとして、引きつづき署名集約をすすめることにも、各県国公で学習決起集会を開催することを確認しました。

宮垣委員長は、「このような新藤大臣の答弁は、消費税増税に向け、公務員が我慢している姿を見せつけるよこしまな発言だ」と批判しました。

詰碁

【出題】九段 石樽郁郎 黒先
(ヒント)中からの攻めで白を仕留めます。黒1、3が好手段です。(10分で二、三段以上)

東京新聞が一面連載記事のタイトルに「岐路」と名付けた第23回参議院選挙が終わった▼消費税増税、原発再稼働、憲法9条改定、TPP、沖縄米軍基地など国民の暮らしと安全、そしてこの国のあり方など重大な課題が問われた選挙は、まさに「日本の岐路が問われる」選挙だった▼結果は自公による過半数獲得となったが国民は憲法改悪を目標とする勢力に三分の二は与えなかった▼投票率などを含め選挙結果をどう見るかは様々な分析が議論されるだろう。弁護士たちは「一票の格差是正」を求め選挙無効の提訴を一齐におこなった▼原発事故の究明も被災者救済も進まない中、「国策」として進めた原発に反省もない勢力と国民の「ねじれ」は、解消されていない。

核廃絶・止めよう、なくそう原発、許すな輸出

草の根の運動から、国民的世論形成を

核兵器のない平和で公正な世界を

2013 World Conference against A&B Bomb

原水爆禁止2013年世界大会

8月3日-5日 国際会議(広島) 8月5日-6日 世界大会・広島 8月7日-9日 世界大会・長崎

原水爆禁止世界大会実行委員会 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-7 平和と労働センター4階 電話 03-5842-6035 FAX 03-5842-6033 URL: http://www.ambaton.org/ E-mail: ambaton25@hotmail.com

今年のはじめ、2015年NPT(核拡散防止条約)再検討会議に向けて「核兵器のない世界」の実現と国際政治の動きに呼応した世界的な行動を意思統一する重要な大会となります。

大会は、被ばくし東電の転換などを求め、世界の原発事故を経験した国に決意を示す歴史的な大会が核兵器の全面禁止・です。海外からはケインの擁護、エネルギー政策表、核兵器廃絶の先頭に

立つ政府の代表、核保有五カ国を含む世界の反核平和運動、核被害者の運動の代表やオリバー・ストーン映画監督などが参加し、また核廃絶の広範な分野で先頭に立つ人や自治体関係者など幅広い人々の期待が集まる世界大会になります。

7月20日、関信地連埼玉支部は、蕨市役所を出発する平和行進のコースがあり、3人が参加しました。今年、長崎で世界大会が開催されます。この集いで、世界大会参加者6名が決意表明をおこないました。

7月2日、江東西署個人課税部門は、不動産所得者への「お尋ね文書」を100通発送しました。担当者名は一人だけです。

その後の計画は分かりませんが、過去、異動直前にこうした文書を発送した経験はありません。まさに前代未聞の事態が現実となりました。

到着した日、あるいは

「7月初旬発送指示を真に受けて、従事する職員のことを考えもせず発送した」とか「お尋ね文書」を出し修正申告をしようとするのです。

見直し依頼は一度の面接で済むでしょうか。誰かが面接し、異動後また別の誰かが対応する。こんな無責任な行政がいつまで実施することです。

局窓口は、全国税の要求に直ちに回答すべきですし、要求を無視して発送させた責任をとるべきです。

前代未聞!
全国で唯一、東京局個人課税だけが異動直前に「不動産所得お尋ね」発送

中野署では、6月27日に改正税法研修と併せて不動産の取組が提案されました。その際、統括官には配られていた実施要領案が、職員には配られておらず、なんのこや、初耳だという意見が出ました。もちろん異動直前の発送は見送られましたが、上の方だけで考えられた施策を実施するには職員の理解と納得が必要なのは当然です。

『税金2013』ができました。



全国税研中央推進委員会編集の『税金2013』(A4判70頁)がでました。

『変貌する税財政・税務行政を検証する』

国民本位の税財政・税務行政をめざして

中心テーマとして

「第52回税研全国集会」を収録した本号は、二宮厚美・神

戸大学名誉教授の講演をまとめた「21世紀のあらたな転換にさしかかった日本の経済・財政」と題する論考を始め、山口潤一郎全国税中央執行委員の特別報告「改定国税通則法と税務職場の現状」ほか分科会の記録、諸資料も満載です。

参加者は88人で、埼玉県国公からは18人が参加しました。

集会では出発地を提供してくれた、頼高蕨市長からのメッセージが読み上げられ、みんなで、さあ出発と思いきや、警護をする蕨警察署にデモ申請が伝わっていないとかで待たされました。

それでも、デモは、蕨駅までの2・6キロを歩きました。

自転車ですれ違った親父に「う



蕨市内を平和行進する参加者たち

訂正 ①6月10日号の一面上段見出しは、長官が「5時前の受付締切も可」と発言したと誤解される表現でした。正しくは、記事本文のとおり「各署で努力している。庁として一律に4時締切りはできない」というものです。②再任用特官の「導入は来年度4月から」は「来年度」の誤りでした。訂正してお詫びします。

無念なり

【東海地連・小牧分会】
遺志(某署)
記事は特定の署、特定の部門を示すものではありません。ただ、正確な情報がなく、色々と伝えられる話を整理したものです。

税務職を選択、税大研修、赴任を経て、東京勤務も経験し、周囲の期待は大にもかかわらず、思い、職場復帰のなかで、転課を、遅れる処遇の状況で、若くして、自らの人生に終止符を打った職員がいました。

驚くことにその最後の死因さえ同僚達に伝えられませんでした。

しかし、『伝えたい』行為は、不審をうみ、不審は噂となり、遂に人々は真実を知ることとなります。(中略)

彼の覚悟は『自ら命を絶つ』という不幸な形で、遺志で示されたのです。だから、理由は知らずとも、最後は伝えられるべきだと思います。

不幸の再発防止のため、『事実』は知るべきです。(中略)

無念です。常日頃、『命と健康を守る』を掲げる全国税ですが、力不足を感じます。

再び犠牲者を出さな

ため、自省と決意を込めて闘うことを誓います。

あなたのご冥福を祈ります。合掌

一年間の連帯―感動をありがとう!!

【東京地連・芝分会】
今日は人事異動の辞令交付日です。全国税芝分会の活動も一区切ですが、数多くの出来事がありました。仲間皆さんから見、全

異動後も注視していきたいと思えます。

昨年の10月には、「賃下げ反対署名」を取り組み176名、また「退職金削減反対署名」は172名もの署名が集まり、国公労連を通じて関係機関に提出されました。この署名には「生活がでなくなると」「むしろ賃上げすべきだ」「公務員いじめもほどこしてほしい」「退職金を減らすのは約束違反だ」などの大きな怒りの声が届いています。毎月実施した「玄関前機関紙購読料カンパ」は、賃下げの厳しい中で総額13万6312円もの金額となり、いつも「仲間ってすばらしい」との想いを強くするとともに、明日の活動エネルギー源でした。



国税の活動はどうだったでしょうか。(中略)

《主な活動報告》
仲間のみなさんの熱い支持により、職場新聞「全国税しほ」は31号の発行ができました。特に今年の5月・6月では、超勤アンケート結果を報じて「超勤の未払状態」を事実として、長官交渉などでも追及しました。現在もまだ問題の解決はできていませんが、

詰碁

〈解答〉黒1から3とツケるのが好手段。白4に黒5で白死です。黒1で先に3は白4黒1白イで失敗。また黒1で5は白イで白生き。白2でイなら黒4で白死です。

